

平成28年度 麻生総合高等学校不祥事ゼロプログラム 検証結果

平成28年度の不祥事ゼロプログラム実施状況に基づいて、次のとおり検証を行った。

1 目標達成状況について

(1) 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止）

ア 目標達成状況 「公務外非行はゼロ」を達成。

イ 検証

- 外部講師による不祥事防止研修（体罰や不適切な言動・ネットいじめ予防と対応）不祥事防止のための管理職による職員面談、職員会議では必ず事故不祥事防止会議を実施し、職員の意識啓発を図った。
- 職員間のコミュニケーションを大切にし、健康第一で、風通しの良いいきいきとした職場づくりの推進に努めた。「ほう・れん・そう」の徹底により情報の共有を図り、事故不祥事防止に努めた。

(2) わいせつ・セクハラ行為の防止

ア 目標達成状況 「わいせつ・セクハラ行為はゼロ」を達成。

イ 検証

- 不祥事防止会議、研修会、個人点検シートを用いて、スクールセクハラの根絶徹底を図った。
- 外部講師による不祥事防止研修（体罰や不適切な言動）を協議・演習形式とし、実践的な研修を導入した。

(3) 体罰・不適切な指導の防止

ア 目標達成状況 「体罰・不適切な指導はゼロ」を達成。

イ 検証

- 外部講師による不祥事防止研修（体罰や不適切な言動）を協議・演習形式とし、実践的な研修を導入した。
- 事故防止会議で体罰・不適切指導に関するテーマを複数回取り上げ、その根絶に努めた。また、体罰・不適切指導が見過ごされない職場づくりを推進するとともに指導の際は複数体制で行った。

(4) 成績処置および進路関係書類の作成および取扱いに係る事故防止

ア 目標達成状況 「成績処理、試験問題作成、調査書等の発行に関する事故はゼロ」を達成。

イ 検証

- 試験問題作成、成績処理業務開始前には、担当グループより、業務手順、マニュアルに基づく業務遂行の徹底を図った。
- 各種証明書の発行手続き等でも、マニュアルに基づく業務遂行、複数の担当者による点検体制を徹底し、事故防止に努めた。
- 点検段階で誤り（ヒヤリハット事例）を発見した場合は、状況を迅速に全職員に連絡し、未然防止に努めた。
- 事故防止会議で調査書の発行や指定校推薦に係る事務に関するテーマを複数回取り上げ、事故の根絶に努めた。

(5) 個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定・誤廃棄防止）

ア 目標達成状況 「個人情報の流失・漏洩はゼロ」を達成。

イ 検証

○止むを得ず個人情報を校外に持ち出す際には、許可手続きを徹底した。また、不祥事防止一斉点検、情報セキュリティ点検、電子情報に関する研修会を実施し、職員の意識啓発を図った。

(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

ア 目標達成状況 軽微な事案1件。

イ 検証

○今回の事案は幸い軽微な事案であったが、公務員としての自覚を持ち、事故防止に努めるよう今後も交通法規遵守について注意喚起や意識啓発を行う。

(7) 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）

ア 目標達成状況 「各業務にかかる事故はゼロ」を達成。

イ 検証

○各業務には複数体制で遂行するように徹底した。
○チェック体制、協力体制が話し合える風通しの良い職場づくりを推進した。

(8) 会計事務等の適正執行

ア 目標達成状況 「不適正な会計処理はゼロ」を達成。

イ 検証

○規則、基準に則った会計処理を徹底した。
○私費の通帳による管理を徹底した。
○インターネットバンキングを利用して現金による手続きを減じた。

(9) 入学者選抜に係る事故防止

ア 目標達成状況 入学者選抜業務にかかり、入試選抜業務にかかる事故はゼロ」を達成した。

イ 検証

○入学者選抜に係る業務では、今年度導入された新システムの理解と、対応のシミュレーションを徹底し、事故なく遂行できる業務体制と研修計画を整備した。H29年度は今年度の実施状況を踏まえ、人員配置、採点場所、採点日数、時間帯などの改善点について検討を行い、次年度以降も事故を起こさない業務遂行体制を構築する。

2 平成29年度にむけて

「法令遵守の徹底」「服務規律の徹底」「信用と信頼を受ける対応」に取り組み、基本に立ち返った行動の再徹底を図る。不祥事防止会議や職員研修会を定期的実施するとともに、不祥事防止に向けての面談、注意喚起や意識啓発を繰り返し行う。

特に入学者選抜業務に係る事故を今後二度と起こさないために、今年度の新たなシステムによる業務の検証を徹底して行い、改善に努める。

その他、事故、不祥事に繋がる問題点を早期発見し対応するために、風通しの良い職場づくりを目指し、事故・不祥事を出さない職場づくりに組織をあげて取り組む。